

平成 25 年 10 月 18 日

総明会
評議委員 各位 殿

周年委員会
委員長 桑崎 安弘

総明会設立 50 周年事業概要（案）

<総明会設立 50 周年事業の目的>

総明会設立 50 周年に際し、
総明会の 50 年の伝統と歴史を残し、次の 100 年につなげるべく、総明会会員の更なる団結を促し、明治高校・中学校関係者、現役生徒へ総明会への更なる理解と認識を広め、総明会の益々の発展を目的とする。

<事業概要>

上記、目的を達成する為に、以下の事業を実施予定。

式典事業

幹事学年と連携し、式典を企画、立案し、総会時に一部二部三部制として式典を実施する。2014 年 11 月開催予定。

寄付募金事業

記念誌発行に必要な費用の募金活動を立案、実施する。2015 年 3 月までに目標金額の募金を行う。目標金額 750 万円。

記念誌編纂事業

総明会設立 50 周年記念誌の編纂、発行を行う。2015 年 8 月末発行予定。全会員へ会報と同送する予定。

<式典について>（案）

- ・式典は来年度幹事学年との協議し、進めてまいります。（12 月の引継式時を予定）
- ・式典の会場は幹事学年に任せ、幹事学年の自主性を尊重しコンセンサスを図る様にいたします。
- ・式典は形式張らず、（ホームカミング・山田感謝祭を参考）若い世代をターゲットとして若手主体のコンセプトでまとめてまいります。

<寄付募集計画> (案)

① 同窓会・班クラブOB会…3万円×20団体×2年=120万円

② 各学年…5万円×40学年=200万円

③ 個人(振込)…2,000円※×500人×2年=200万円

※50周年記念誌寄付金用振込用紙を作成し、来年会報発送に同封いたします。

※寄付金の最低額1口を2,000円といたします。

④ 総会・懇親会…1,000円×300人×2年=60万円

⑤ チャリティゴルフ…1,000円×100人×2年=20万円

⑥ 企業…20万円×16社=320万円

*会報誌巻末に企業広告枠(ページ)を設け、カラー・2年間掲載という条件で、広告代を1社(1ページ)20万円に設定し、OBの企業に寄付を要請いたします。

上記、計画案合計 920万円

*寄付についても幹事学年と協議して、進めてまいります。

<組織体制>

上記事業を成功させる為に、別紙の組織体制、小委員会を構築いたします。

編纂委員会は編纂委員会委員長より協力を要請させていただきます。

式典委員に総会委員の協力をお願いいたします。

式典委員会に女性OGを入れ、若手の発想からの式典にしたいと考えています。

その為にも、組織委員より若手の勧誘をお願いいたします。

役員、理事、副理事、委員、会員皆様の積極的な参加、ご協力をお願い致します。

<今後の予定>

10月18日(金)第3回評議会でご承認

・全体会議は3ヶ月に一回

・編纂は2ヶ月に一回

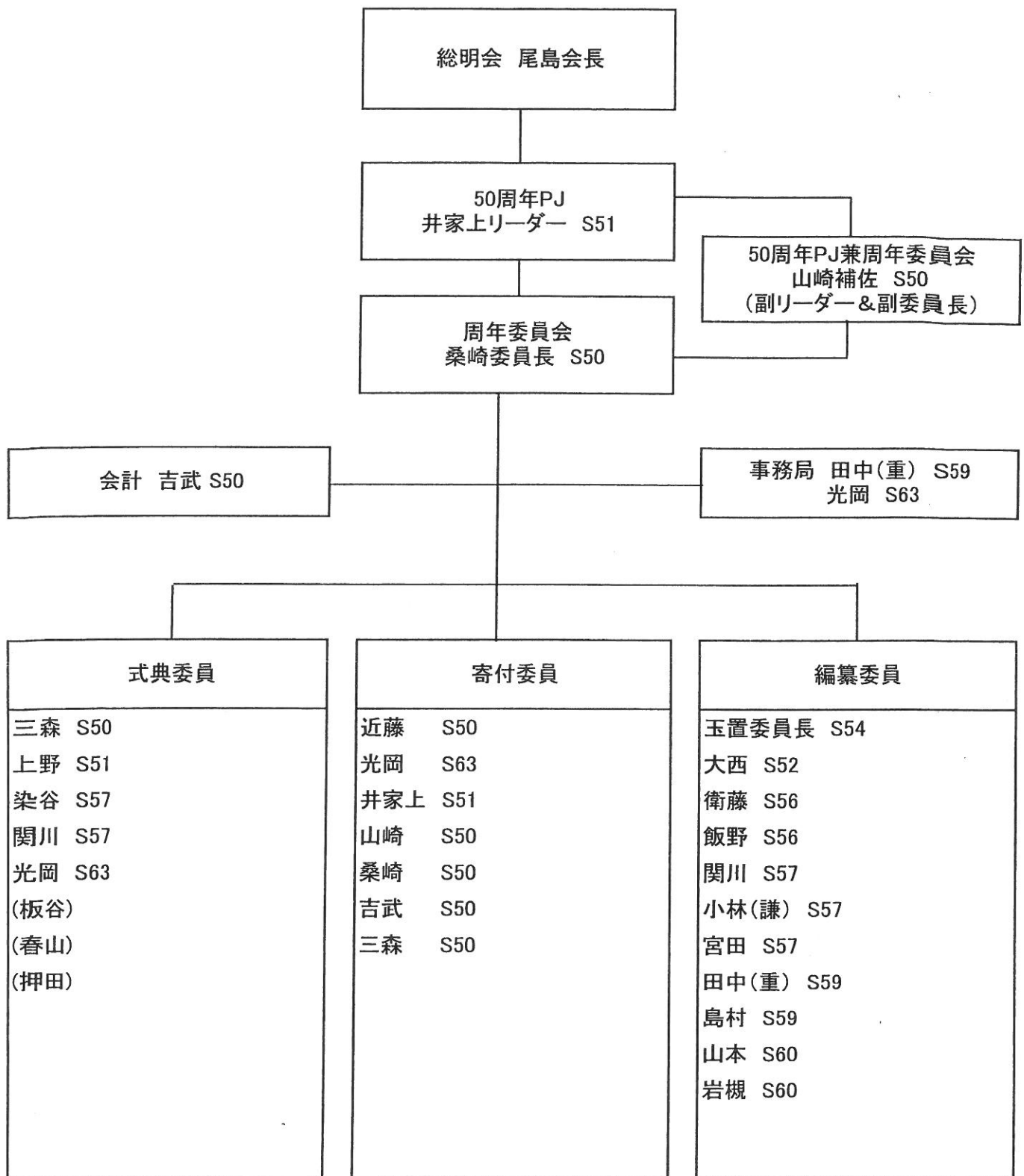
2014年11月 式典開催予定

2015年3月までに目標金額の募金を実施予定(目標金額は未定)

2015年8月末 記念誌発行予定

以上

◆ 総明会 50周年事業 組織図(案) (敬称略)



* ()は協力要請中。

<記念誌編纂の内容、アウトライン> (案)

題字、巻頭の言葉、口絵、歴代会長&功労者挨拶、学校関係者挨拶
総明会の成り立ち、幹事学年制度の成り立ち、
各学年からの寄稿：会名の由来、総会テーマ、成功・失敗談など
会則について、総明会賞について、会旗について、評議会について
総会の歴史、チャリティゴルフについて、明朗会について、会報誌について
略年表、組織について、あとがき、ご寄付者一覧
表紙4P、扉2P、口絵16P、本文160P 全182P
あじろ上製本、花きれ有り、スピン1本、ケース、
表紙はクロス、金箔、空押しを想定

<概算予算> (案)

制作・印刷費 (5社より見積り)	¥6,000,000
封筒・封入・発送費 (概算)	¥800,000
小計	¥6,800,000
消費税	¥544,000
合計	¥7,344,000

*印刷は印刷会社5社(DNP、凸版印刷、中町印刷、サミット印刷、赤岩印刷)より見積りを取りました。

*封筒、封入・発送費に関しましては、幹事学年会報と同送することにより、総明会からの会報発送予算(¥1,000,000)を充当させていただくことを考慮しておりますが、重量が重くなる為、追加予算が発生いたします。(概算)

上記より、50周年記念事業としては記念誌編纂、発送作業費を中心として、約750万円の費用が必要と考えます。

よって50周年記念PJ寄付委員会の目標金額は¥7,500,000を提示させていただきます。

平成 25 年 10 月 18 日

総明会
評議委員 各位

総明会会報委員会委員長
会報誌ネーミングプロジェクト 衛藤

総明会会報誌ネーミングについて

1. 応募状況報告

- 3月の告知以来、ホームページからの応募、総明会行事開催時の書面での応募を含め、23名の方から延べ30件の応募がありました。

2. 応募内容詳細

集約の結果、「紫紺」、「白雲」、「総明」といった言葉がキーワードになっていることが読み取れました。

「総明」「總明」	6件
「紫紺」	5件
「白雲」もしくは、「白雲なびく」	5件
「男坂」	3件

3. プロジェクトとしての候補と結論

本件の提案者として、広報委員長、周年行事委員長、総務委員長をプロジェクトメンバーとして協力を要請し、応募案を元に選定作業にご協力いただきました。

プロジェクトとしては応募の理由だけではなく、今後も末永く続く会報誌の名前に相応しいものであることを基準として選定しなければならないという考えに基づいて検討を行いました。

その結果、応募された案の中で上記キーワード4種のいずれかが含まれる名前が相応しいと考えました。

以下上記4種キーワードのメリットとデメリットを整理いたしました。

「総明」「總明」

- ・初代校長鵜澤總明先生のお名前、総明会の総明
- ・単刀直入すぎないか？

「紫紺」

- ・明治カラー、明治魂を象徴している
- ・大学と重複する

「白雲」もしくは、「白雲なびく」

- ・校歌の一節、三木元総理の書
- ・大学と重複する

「男坂」

- ・猿楽町校舎の象徴
- ・調布に移転、男女共学

上記の様にそれぞれ、一長一短があり、そのキーワードだけでは、選定が難しい状況でありましたので、上記キーワードともう一つ会報を表す言葉を選定し、総明会の会報を表現できないかと考えました。

会報を表す言葉として「詩」（うた）をご提案致します。

「詩」は応援歌などの歌（音）ではなく、我々総明会会員の心に残る詩（言葉）です。

上記キーワードと組み合わせた場合、最も響きが良く、総明会会報に相応しい名前は

「紫紺の詩」（しこんのうた）

であると結論づけました。

大学、高校、中学、そして総明会でも、「紫紺の歌」はありますが、総明会にはもう一つ大学、高校、中学には無い、独自性のある＝唯一の「紫紺の詩」が誕生することになります。

ここに、ネーミングプロジェクトと致しましては、「紫紺の詩」を10月11日理事会に報告し、評議会に提案し、ご承認をいただきたいと結論づけました。

4. 今後のすすめ方

以下、11月総会に向けたスケジュールをご提示致します。

- 10月11日（金） 理事会にてプロジェクトより候補を報告。
- 10月18日（金） 評議会にて経緯の報告と候補案の承認。
- 11月10日（日） 総明会総会にて報告。

以降 揮毫者の選定作業をすすめ、来年の会報誌からの使用準備を進めます。

5. 揮毫について

総明会の会報誌としてふさわしい方、母校にゆかりのある方に揮毫いただくことが第一と考えます。

総明会会員のなかで各界著名人の方、100周年に母校に書を寄贈いただいた書道家の福島様等に揮毫いただいております。

以 上